

## 2021年度 第2回再エネ講座シンポジウム

1. 主 催 京都大学経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座
2. 開催日時 12月10日(金) 9:00~17:00 <オンライン>
3. プログラム

■ 2020年12月10日(金) 9:00-11:50

若手研究者による電力市場研究の(専門家向け)ワークショップ(司会:安田 陽)

本ワークショップは、再エネ講座が進めている若手研究者による電力市場研究の中間報告となります。日本では、2020年末~21年初にかけての電力価格高騰を契機に、電力市場のあり方への関心が高まりました。本ワークショップでは、より公平で透明性の高い競争環境の担保された市場構築に向けて、最先端の研究を報告・討論する機会と致します。議論は専門的ですが、一般の方々の積極的なご参加を歓迎いたします。

開催時間	演題	登壇者(敬称略)
9:00-9:05	開会の挨拶	諸富 徹: 京都大学大学院経済学研究科/地球環境学学 教授
9:05-9:45	「間接オークションは何をもたらしたのか:電力市場と連系線の実証分析」 (30分講演/10分質疑応答)	杉本 康太 (東京財団政策研究所 博士研究員)
9:45-10:25	「日本における新電力の再エネ電力生産」 (30分講演/10分質疑応答)	馬 騰 (京都大学大学院経済学研究科 特定講師)
5分休憩		
10:30-11:10	「欧州電力市場の価格高騰要因-ドイツ市場を例として」 (30分講演/10分質疑応答)	杜 依濛 (京都大学大学院経済学研究科 特定講師)
11:10-11:50	“The Agent-based Electricity System	張 砢

	Modeling and Its Potential for Policy Assessment on the Japanese Power Markets” (30分講演/10分質疑応答)	(京都大学大学院経済学研究科 特定助教)
70分休憩		

■ 第1部 2020年12月10日(金) 13:00-15:00

『電力市場価格高騰から学ぶ電力市場改革のあり方～国際比較の視点から』

本シンポジウム第1部では、2020年末～21年初にかけて起きた電力市場価格高騰を教訓として、再生可能エネルギーの大量導入を可能にしつつ、より公正で透明性の高い電力市場を構築するにはどのような制度改革が必要なのかを議論します。日本、欧州、アメリカに関する事例研究の成果も踏まえ、登壇者が日本の電力市場改革の将来展望を探ります。

開催時間	演題	登壇者(敬称略)
13:00-13:05	第1部 趣旨説明	諸富 徹： 京都大学大学院経済学研究科/地球環境学学 教授
13:05-13:30	「日本・米国・欧州における電力市場価格高騰問題 ～類似点と相違点、表面的理解と根本原因～」	安田 陽： 京都大学大学院経済学研究科 特任教授
13:30-13:55	「(仮) 電力市場監視に関する国際比較分析」	山田 心治： 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主任研究員
13:55-14:20	ご講演内容： ドイツにおける電力市場監視について	西村 健佑： ドイツ在住エネルギー一関連調査・通訳
14:20-14:50	パネルディスカッション	司会：諸富 徹

開催時間	演題	登壇者(敬称略)
14:50-14:55	スポンサー企業代表挨拶	水本 桂輔： Daigas ガスアンドパワーソリューション

		ン株式会社 部長  須藤 豊： エネルギー戦略研究 所 社長
5分休憩		

■ 第2部 2020年12月10日(金) 15:00-17:00

京大特別シンポジウム「CNの主役風力、太陽光、水素は2030年、2050年にどう臨むか」

趣旨：2050年までのカーボンニュートラル宣言が出された中で、エネルギー基本計画、グリーン成長戦略が取り纏められています。主役に位置付けられる風力、太陽光、水素に焦点を当て、事業者目線でお考えを伺い、エネ基目標年次である2030年についてどう臨むか、2050年をどう展望するかについて認識を深めたいと思います。

開催時間	演題	登壇者(敬称略)
15:00-15:10	挨拶 シンポジウムの狙い	山家 公雄： 京都大学大学院経済 学研究科 特任教授
15:10-15:45	「(仮)2050年 NET ZERO にむけて(洋上風力)」	祓川 清： 日本風力開発株式 会社 最高顧問
15:45-16:20	「(仮)主力化を目指すこれからの太陽光発電 ～ 2050年CNの実現に向けた役割と2030年までに解決 すべき課題～」	増川 武昭： 太陽光発電協会 企画部長
16:20-16:55	「(仮)水素はいかにカーボンニュートラルに貢献す るか」	丸田昭輝： (株)テクノバ エネル ギー・水素グループ グループマネージャ ー
16:55-17:00	終了の挨拶	山家 公雄

4. 参加定員 約300名様

※セミナーの録画および録音等のご遠慮いただいております。

## 5. 参加費 無料

※事前のお申し込みが必要です。

## 6. 参加のお申し込みについて

※ご参加をご希望される場合は、下部 URL よりお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

▼参加申し込み

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_jYmBIUkUSzqgVy3SrFYXNw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_jYmBIUkUSzqgVy3SrFYXNw)

## 7. シンポジウム使用システムについて

ZOOM ウェビナーを使用してのオンラインシンポジウムとなります。

事前にご登録や PC にシステムをダウンロードしてない場合でも、主催者側からお送りする URL にアクセスいただくことでご参加いただけます。

※スマートフォン・タブレットからはアプリをダウンロードしていただく必要がございます。

※通信料はご参加者さまご負担となりますので、Wi-Fi 環境下でのご参加をおすすめします。

## 8. 報告資料について

開催当日の 9 : 00 以降、本ページ、ならびに以下リンク先に順次掲載させていただきます。

[https://drive.google.com/drive/folders/1YbvQRxtZs1EEP\\_GhdH2mYirvO0cjou8X?usp=sharing](https://drive.google.com/drive/folders/1YbvQRxtZs1EEP_GhdH2mYirvO0cjou8X?usp=sharing)

なお、登壇者による資料は一部非公開となり、すべての報告資料が公開されるわけではない点、予めご了承ください。

※本研究会（第 1 部、第 2 部）は録画され、公開研究会終了後に再エネ講座 HP での公開を予定しております。

## 9. その他・開催進行について

【若手研究者によるワークショップ】

講演時間は、各講師の講演 30 分と質問 10 分、合計 40 分を予定しています。ご質問は Zoom の「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入ください。質問時間 10 分内で各講師が回答させていただきます。

【第 1 部】

講演時間は、各講師 25 分の講演後にパネルディスカッションの時間を 30 分設けています。ご質問は Zoom の「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入

ください。パネルディスカッションの時間枠で可能な限り、回答、議論させていただきます。

【第2部】

ご質問は、Zoomの「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入ください。講演時間の時間枠で可能な限り、回答させていただきます。

ご不明な点につきましては下記までお問合せください。

+++++

再エネ講座シンポジウム 2021 事務局

E-mail : ree.kyoto.u@gmail.com

HP: [http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable\\_energy/stage2/top/](http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/stage2/top/)

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院 経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座

[TEL:075-753-3474](tel:075-753-3474)

+++++